

公害防止設備投資調査（平成21年版）

1. 概要

(1) 調査目的

我が国の主要産業の最近の公害防止設備投資動向を把握し、企業の公害防止設備への適正な投資を図る。

(2) 調査対象

経済産業省所管の鉱工業（鉱業、電気供給業及びガス供給業を含む）に属する資本金1億円以上の企業を対象に1500社に対して調査を実施し、723社（兼業部門を各々1つとして計算してある。）から回答を得た。

(3) 調査時点

平成21年3月31日（本調査は、昭和48年度から毎年3月に実施）

(4) 調査項目

平成19年度における公害防止設備投資実績額

平成20年度における公害防止設備投資実績見込額

平成21年度における公害防止設備投資計画額

(5) 公害防止施設の範囲

以下の施設（公害防止施設の他、その設置のために直接的に必要な土地及び建物を含む）を指す。

① 大気汚染防止施設

② 水質汚濁防止施設

③ 騒音、振動防止施設

④ 産業廃棄物処理施設

⑤ 公害防止関連施設（①～④いずれにも含まれず、主として公害防止目的で設置された施設）

2. 公害防止設備投資の一般動向（A表参照）

(1) 平成19年度実績額及び平成20年度実績見込額について

公害防止設備投資調査に回答のあった企業において、平成20年度公害防止設備投資実績見込額は1,314億円（工事ベース。以下同じ）で、平成19年度実績額1,383億円に対し、5.0%の減少となっている。

これは、平成20年度公害防止設備投資実績見込額のうち46.4%（610億円）を占める電気において、対前年度比20.0%の減少となったことによる要因が大きい。また、全16調査業種中8業種において前年度より減少となっている。

なお、8業種の公害防止設備投資実績見込総計額は平成20年度公害防止設備投資実績見込

額のうち52.2%（686億円）を占めている。

(2) 平成21年度計画額について

全企業の平成21年度公害防止設備投資計画額は1,158億円で、平成20年度実績見込額1,314億円に対し、11.9%の減少となっている。

これは、平成21年度公害防止設備投資計画額のうち、20.4%（237億円）を占める鉄鋼において、対前年度比40.5%の減少となったことによる寄与が大きい。

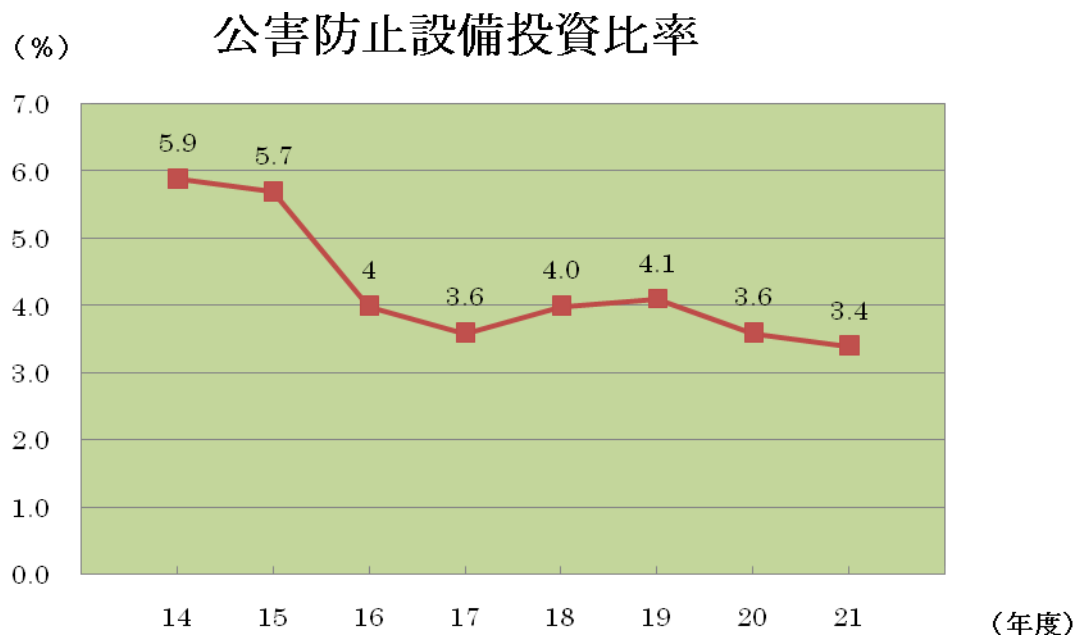
さらに5.3%（61億円）を占める石油精製においても、対前年度比44.0%の減少となった事が理由として挙げられる。

3. 公害防止設備投資比率（全設備投資に占める公害防止設備投資額）の推移

公害防止設備投資調査に回答のあった企業の全設備投資額は、平成20年度実績見込額3兆6,501億円で、平成19年度実績額3兆3,732億円に対し、8.2%の増加となっている。

公害防止設備投資比率は、平成14年度5.9%、平成15年度5.7%、平成16年度4.0%、平成17年度3.6%、平成18年度4.0%、平成19年度4.1%、平成20年度（実績見込額）3.6%、平成21年度（計画額）3.4%となっている。（※）

なお、平成20年度実績見込につき業種別に見たところ、熱供給（20.6%）、鉄鋼（15.9%）において投資比率が高い。



※ 14～18年度は既公表データ

19年度は実績額、20年度は実績見込額、21年度は計画額（平成19年度調査結果による）

4. 公害防止設備の種類別動向（B表参照）

平成20年度全業種の公害防止設備投資額（実績見込額）のうち、大気汚染防止施設は52.3%となっており全体に占めるウェイトが大きい。また、水質汚濁防止施設は23.5%を占めている。

（1）大気汚染防止施設

平成20年度大気汚染防止施設投資額（実績見込額）は687億円で、平成19年度の実績額の753億円に対し、8.7%の減少となっている。

これは、平成20年度における全業種の施設投資額のうち19.2%（132億円）を占める鉄鋼において、対前年度比38.2%減少したことによる要因が大きい。

また、全業種の施設投資額のうち56.6%（389億円）を占める電気においては、対前年度比5.3%増加しているが、化学（対前年比12.6%減）やパルプ・紙（対前年度比44.2%減）等の施設投資額は減少しており、全体の投資額の増加率は低くなっている。

（2）水質汚濁防止施設

平成20年度の水質汚濁防止施設投資額（実績見込額）は309億円で、平成19年度実績額の163億円に対し、89.3%の増加となっている。

これは、平成20年度における全業種の施設投資額のうち63.6%（197億円）を占める鉄鋼において、対前年度比182.9%の増加となったことによる寄与が大きい。

なお、その他の増加に寄与した業種として、石油精製（対前年度比201.7%増）、電気（対前年度比41.1%増）等が挙げられる。